

2022年度入試

入学試験問題集

【東京成徳大学 国際学部 国際学科】



東京成徳大学 東京成徳短期大学

目 次

総合型選抜 9月入試 小論文	1
総合型選抜 10月入試 小論文	2
総合型選抜 12月入試 小論文	3
学校推薦型選抜（公募入試／指定校入試） 小論文	4
一般選抜 D日程入試 総合型問題（学部学科別）	5
出題意図.....	6

「一般選抜 A 日程・B 日程・C 日程」の問題は、
「2022 年度入試問題集 一般選抜 A 日程・
B 日程・C 日程（大学・短期大学共通）」に
掲載しています。

●総合型選抜 9月入試

【小論文】（試験時間：60分）

国連世界食糧計画（WFP）の活動に関する次の文章を読んで設問に答えなさい。

- 問1 WFPが活動している国々では、子供たちはどのような状況に置かれ、どのような生活をしているか、100字程度でまとめなさい。
- 問2 波線部「平和ぼけ」の意味を本文に即して150字程度で説明しなさい。
- 問3 筆者が指摘しているように、国際社会はさまざまな課題に直面しています。そのような課題を一つ取り上げ、あなたの意見と解決策を500字程度で述べなさい。

飢餓のない平和な世界を目指して

2020年は国連が創設されて75周年となります。私は、物心がついた頃から“United Nations”の理想に憧れていました。それは、国々がお互いの違いを乗り越え、理解し、尊重し合いながら国境を越える難問を解決するというものです。25年以上前、「国連に入るので辞めます」と当時勤めていた証券会社の同期に言ったら、「国連のほかにも貢献の仕方があるから考え直せ」と注意されたことを今でも鮮明に憶えています。

私はこれまで、ニューヨークの国連本部、バンコクのアジア太平洋経済社会委員会、そして様々な国のWFPの事務所で働いてきました。WFPは現場中心であり、WFPでの勤務が一番長くなりますが、平均で3、4年ごとに新しい国で違う仕事をしているので、毎日が新鮮です。

WFPは主に紛争、自然災害、貧困や不景気のため毎日の食料が足りない国で、食料支援を中心とした人道支援業務を行っています。危険な場所で働くことも多く、きつい時もたくさんあるので、体力的にも精神的にもタフになっていきます。また、いつでも電気や水道を使えること、そして子供が子供らしくいられることなど、日本では当たり前だと思うことをとても有り難いと感じることができます。例えば、1990年代、石とホコリだらけのケニアの乾燥地帯で働いた時には、1日の汚れを落とすことができるお湯があることに感謝しました。たとえ小さなタライ一杯だけでも、ぬるくても、虫がブカブカ浮いていても。また、3年前まで働いていたマラウイでは停電がしょっちゅうで、ひどい時には自宅で1日に4、5時間しか電気がない毎日が続きました。

私たちは、今日の前に迫る問題と将来的な課題を同時に解決しなければなりません。マラウイで、気候変動、穀物の不作、インフレなど様々な要素が混ざり、歴史的な食料不足が発生した際には、数か月にわたり週末を削って仕事をして、恐れていた深刻な飢餓の発生を防ぐことができました。貧しさのため小学校に行けず、家計を助けるため家の手伝いをする子供たちのために、学校給食を届けるという仕事もしました。また、将来的にレジリエントな（困難な状況にも柔軟に対応できる）村、地域、国を作るため、政策の立案、マルチセクター（多方面の関係部門）へのアプローチ、投資のための中央政府と地方政府との連携への協力、村人たちへのプロジェクト参加の呼びかけとキャパシティ・ビルディング（能力構築）支援などにも力を入れて取り組んできました。

「平和ぼけ」という言葉を日本で初めて聞いた時は大変驚いたのですが、今も世界の各地で戦争が行われ、平和の訪れを待ち望んでいる人たちがたくさんいます。終わりが見えない戦争だけでなく、自然災害を加速させる温暖化、環境汚染など色々な課題が増えています。WFPの同僚たちはイエメンやシリアといった紛争地帯でも任務に励んでいます。私たちは世界中で大規模な緊急人道支援を5、6件同時に掛け持ちしているような状況です。残念ながら、これは25年前、いや10年前でさえ考えられなかったシナリオです。人類、そして、かけがえのない地球が、持続可能な平和や繁栄を享受できるよう、国連はこれまで以上に活躍が求められています。

●総合型選抜 10月入試

【小論文】（試験時間：60分）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

- 問1 グローバル化がもたらす音の風景の「画一化」（波線部1）とはどのような現象か、本文の記述をもとに100字程度でまとめなさい。
- 問2 「音の風景の問題」（波線部2）とはどのようなことか、本文の記述をもとに150字程度でまとめなさい。
- 問3 筆者は「グローバル的な要素がより増す世界の各地域を考える上で、音の風景はひとつの貴重な視点を提供してくれる」と述べているが、あなたの身の周りで感じられるグローバル化について具体的な例を挙げながら550～600字で述べなさい。

世界のさまざまな地域のグローバル化は音の風景にも大きな変化をもたらす。そしてその変化は多くの場合、画一化¹の方向にある。グローバル化が進む地域においては、その地域の音の風景の基調となっている音群、特に人びとの生活を支える活動が作り出す基本的な音の中に、統一規格の機械類や器具類そして統一規格のサービス産業の作り出す音の占める割合が拡大していく様子が見られる。仮にその中に住民にとって異質で不快な音があろうと、その音が、国や地域の発展や生き残りのため、物質的生活の保証のために「必要」なものとされるなら、住民が本当に好もうと好むまいと、それは何らかの形で許容され、間もなくその地域の音の風景の一部と化す。そうした統一規格のものが作り出すのは異質な音だけではない。それは一種の静けさや沈黙さえ作り出す。スマートフォンの普及によって、国や地域が異なればさまざまな言語や音が聞こえていた公共交通機関の中でも、最近では皆揃ったように手元の小さな画面に向かって沈黙し、指が画面をすべっていくかすかな音だけが聞こえ、周辺は独特の静けさに満たされているといった風景が出現している。

人の移動も大きな音の風景の変化をもたらす。ヨーロッパにおいて頻繁に見られる旧来の地域住民とムスリム系移民の緊張関係は、地域の音の風景とも密接に関わっている場合がある。たとえば街角のムスリム系の食料品店から流れるラジオのアラビア語放送の音、ムスリム系住民の日々の祈りやコーランの朗読の音などは、それらに慣れ親しんだ人びとにとっては、音の風景の中のささやかな後景としての意味以上のものを持たない。しかし彼らの存在に不信感や恐れを抱く一部の地域住民にとっては、それらの音が必要以上に前景として浮き上がり、大きく威圧的な音と感じられ、それが時として移民排斥を訴える人びとにより、地域の平穏を乱す要素のひとつとしてメディアなどを通して象徴的に印象付けられる。他者に対する恐れや憎しみ、そして共生や他者理解は、音の風景の問題²と無縁ではないのである。

人の移動はまた言語の移動でもある。一カ国語しか話されていない環境の中にひとり異なる言語で話す人が混ざること、その場の雰囲気が一変してしまうという状況を経験した人は少なくないであろう。それは単にその「異」言語の音そのものへの違和感だけではなく、その音が象徴するもの、言い換えれば理解の困難、コミュニケーションの困難への予感が、その場の全体の秩序を壊すからである。しかしそれは単なる破壊ではなく、もうひとつの秩序構築への第一歩でもある。異なる言語が話されたことで、もともとそこで話されていた言葉が突然消え去ってしまうわけではない。ヨーロッパでは比較的狭い地域の中に多様な言語風景が見られ、その多様性を可能な限り取り入れた秩序作り、新しい言語環境構築への試みが絶え間なく行われている。長きにわたって国際化が叫ばれながらも、多様な言語風景を体験する機会が極めて限られている多くの日本の人びとにとって、ヨーロッパの言語風景は常に刺激的である。

こうした音の風景についての考察は、単に失われてしまった「古き良き」音の風景への郷愁のみを生み出すのではない。その地域独特の音の秩序だけでなく、その変化をも注意深く観察する必要がある。グローバル的な要素がより増す世界の各地域を考える上で、音の風景はひとつの貴重な視点を提供してくれるだろう。

出典：伊藤玄吾「第3章 言葉・音（4）グローバル化と音の風景」同志社大学グローバル地域文化学部編『地域研究への扉 グローバルな視点から考える』晃洋書房、2013年

●総合型選抜 12月入試

【小論文】（試験時間：60分）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

- 問1 下線部「この二つのかけ離れた考え方」とあるが、それぞれの考え方に基づく「選択を行う方法」の違いについて、100字程度でまとめなさい。
- 問2 「選択を行う方法」に対するあなたの考えを、文化的背景の違いによる影響も含め500字程度で述べなさい。

出題文章の著作権使用許可が下りなかったため、本文を掲載していません。

なお、問題文はシーナ・アイエンガー著、櫻井祐子訳『選択の科学』の一部を改変、引用して出題しております（1,700字程度）。

●学校推薦型選抜（公募入試／指定校入試）

【小論文】（試験時間：60分）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

- 問1 「(my) pronouns」がアメリカ英語学会の「今年の言葉」に選ばれた具体的な理由を80字程度でまとめなさい。
問2 「三人称単数としての「they」」とはどういうことか、90字程度でまとめなさい。
問3 日本語にも「くん・さん」「貴方・貴女」「サラリーマン・OL」など性別的意味合いを含む用語があります。ジェンダーを意識した場合の日本語での人の「呼び方」「呼ばれ方」について、あなたの意見を400字程度で述べなさい。

今、時代を表す言葉は代名詞のようだ。

アメリカ英語学会は先頃、2019年の「今年の言葉」を発表。今回は「2010年代の言葉」も同時に選んだ。

筆者を含む200人以上の投票によって選ばれた「今年の言葉」は「(my) pronouns」、
「2010年代の言葉」は三人称単数としての「they」だった。「(my) pronouns」は「自分の意思で決める代名詞」という意味だから、「they」と共に自らを男性・女性のどちらでもないと認識する「ノンバイナリー」な人々への見方の変化を表す言葉だ。

「今年の言葉」の趣旨は、言語の自然な進化を分かりやすく示すこと。候補となる言葉は、その年の世相を映し出す新語・流行語でなくてはならない。17年は「fake news（フェイクニュース）」、18年は不法入国した家族の子供だけを引き離して収容するために設けた施設をトランプ政権が優しげな表現で呼んだ「tender-age shelter（注）」だった。

アメリカ英語学会の「今年の言葉」は30回目と最も歴史があるが、メリアム・ウェブスター辞典やオックスフォード英語辞典も同様の言葉を選んでいる。メリアム・ウェブスターが選んだ19年の「今年の言葉」も「they」だった。

アメリカ英語学会が選んだ「(my) pronouns」は、あるトレンドに光を当てる。SNSのプロフィール欄などで、自分を指す際に使ってほしい代名詞を選べるようになってきたことだ。背景には、ノンバイナリーな人々が希望の人称を気兼ねなく提示できるようになればという空気がある。

「2010年代の言葉」は、「they」がノンバイナリーな人々を指す三人称単数としても使われるようになったことに光を当てている。

昔から「they」は、性別が不明な人を差す場合や性別が重要でない文脈で三人称単数として使われていた。「その人（they）の名前は？」という具合だ。しかし「he」か「she」か断定しにくい人々の三人称単数として受け入れられたのは、最近のことだ。

言葉は文化とともに変わる。ノンバイナリーな人々の性自認を尊重しようという社会の流れが言語にも波及し、変化しないはずの代名詞を変え、「he」と「she」の不動のコンビに新顔「they」を加えた。

言語のジェンダーギャップを埋めるこの動きは、アメリカの南部で「y'all」という言葉が二人称複数の代名詞として使われているのに似ているかもしれない（一般的な「you」では単数か複数かは明確に分からない）。ただし「y'all」は「you」と「all」が自然に合体して生まれたが、三人称単数としての「they」は社会の意識的な動きから広まった。この「they」に抵抗感を持つ人が少なくないのは、そのせいだろう。

言語学者のエバン・ブラッドリーは最近の研究で、単数としての「they」を「正しい英語」だと思うかと人々に尋ねた。すると性別が不明な人を指す従来の用法は広く認められたが、ノンバイナリーな人を指す「they」を受け入れるかどうかは回答者のジェンダー観に左右された。

社会のジェンダー観がもっと自由になれば、新しい意味の「they」もさらに根を下ろすのだろう。

（注）子ども向けの移民収容センター

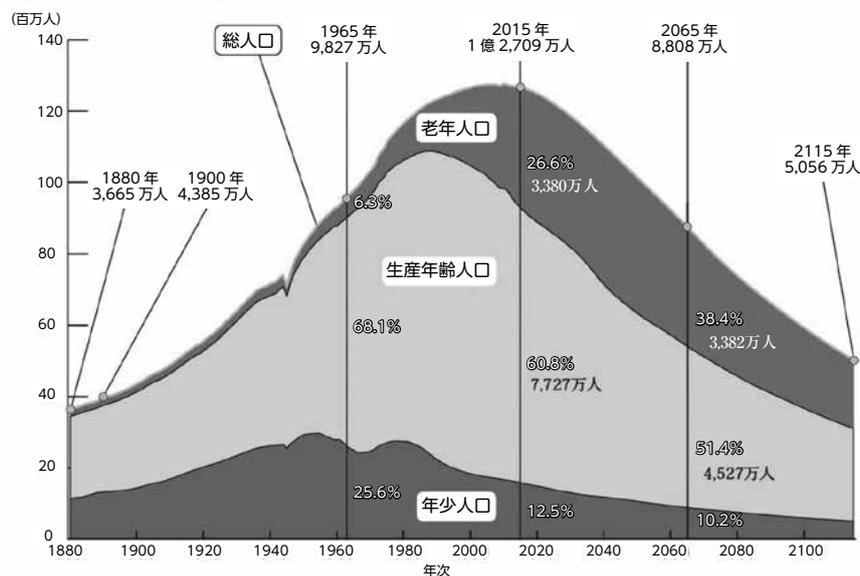
●一般選抜 D 日程入試

【総合型問題（学部学科別）】（試験時間：60分）

国立社会保障・人口問題研究所が公表した日本の人口推移に関する資料を見て、以下の問いに答えなさい。

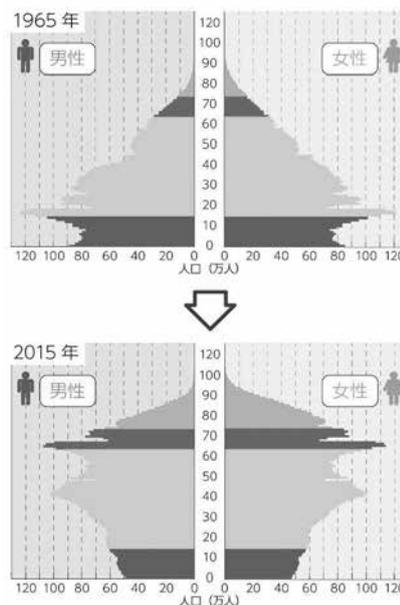
- 問1 1965年と2015年のデータを比較し、人口構造はどのように変化しているか、60字程度で説明しなさい。
- 問2 2015年と2065年のデータを比較し、日本の総人口、生産年齢人口（割合・実数）はどのように変化しているか、100字以内で説明しなさい。
- 問3 2015年と2065年の生産年齢人口の変化から、どのような課題があると考えますか。また、それに対してどのようなことに取り組まなければならないと考えますか。あなたの意見を500～600字で述べなさい。

●我が国の人口推移—明治期～21世紀—



資料：旧内閣統計局推計、「国勢調査」
「人口推移」、「日本の将来推計人口」
(平成29年推計【出生中位・死亡中位推計】)

●人口構造の変化



●出題意図

総合型選抜 9月入試【出題意図】

1. 問題文選定理由

この試験問題では、現在もなお続く深刻な飢餓と貧困などの国際社会が解決すべき課題について、どのように捉えるか、どのように考えるかを志願者に問うことにより、本学部が目指すグローバル人材としての資質を測る。

2. 内容理解

飢餓と貧困の実態と背景、WFPの業務や直面する課題、筆者の現場経験や批判的な現状認識、国際社会が直面するその他の課題について理解しているかを問う。

3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決能力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

総合型選抜 10月入試【出題意図】

1. 問題文選定理由

この試験問題では、「グローバル化による音の風景の変化」という視点をとおして、グローバル化が世界のさまざまな地域や人びともたらす影響をどのように考えるのかを志願者に問うことにより、本学部が目指すグローバル人材としての資質を測る。

2. 内容理解

問題文では、グローバル化を考える視点の一つとして「音の風景」が取り上げられている。画一化、人の移動、言語の移動などグローバル化による世界各地の変化を「音の風景」という視点をとおしてどのように理解し、考えるのかを問う。

3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決能力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

総合型選抜 12月入試【出題意図】

1. 問題選定理由

この試験問題では、文化的背景が「選択を行う方法」に影響を及ぼすことに対して、志願者はどのように考えるのかを問うことにより、本学部が目指すグローバル人材の資質を測る。

2. 内容理解

属する文化によって選択を行う方法に違いがあること、個人主義的社会では個人の意思を大切に、集団主義社会では義務を重視する、といった考え方の違いが生活のあらゆる場面での選択方法に影響を及ぼす、ということを理解しているかを問う。

3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

正解例

問1

個人主義的社会に属する人たちは個人の意思を大切に自分自身の判断に基づき選択を行うが、集団主義社会に属する人たちは「何をなすべきか」という義務を重視するため、必要な場合には選択を他者の手に委ねる。(99字)

学校推薦型選抜（公募入試／指定校入試）【出題意図】

1. 問題文選定理由

自らを男性・女性のどちらでもないと認識する「ノンバイナリー」に関する問題を取り上げる。日本でも「多様性」は重要なキーワードになっており、それと関連するこの問題は、グローバル社会の動向について考える上で看過できない問題の一つである。この点に関して本学部の志願者の考えを問い、本学部が目指すグローバル人材としての資質を測る。

2. 内容理解

「(my) pronouns」や「they」が「今年の言葉」として選ばれた理由や、「三人称単数としての「they」」とはどういうことかを問うことによって、言葉の使い方の変化に象徴される社会の動きを理解しているかを見る。

3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決能力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

正解例

問1

ノンバイナリーな人々が希望の人称を気兼ねなく提示できるように、SNSのプロフィール欄などで自分を指す際に使ってほしい代名詞を選べるようになってきたから。(75字)

問2

ノンバイナリーな人々の性自認を尊重しようという社会の流れが言語にも波及し、変化しないはずの代名詞を変え、「he」と「she」の代わりに三人称単数として「they」を使うようになったこと。(89字)

一般選抜 D 日程入試【出題意図】

1. 問題選定理由

この試験問題では、少子高齢化が社会と経済に及ぼす影響と今後の課題について志願者はどのように考えるのかを問うことにより、本学部が目指すグローバル人材の資質を測る。

2. 内容理解

まず人口推計に関する資料やデータを分析し、説明する力を問う。また日本が抱える人口問題について客観的に考えた上で、多様な視点からその課題を見出し、有効な取り組みを提案する能力を見る出題でもある。

3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

正解例

問 1

人口構造が1965年の「富士山型」から2015年の「つば型」へと変化していることから少子高齢化の進行がうかがえる。(51字)

問 2

日本の総人口が2015年の1億2700万人台から2065年の8800万人台に約3900万人減少している。また、生産年齢人口の割合が60.8%の7727万人から51.4%の4527万人になり、約3200万人減少することが観察できる。(95字)